

リアルペットとヴァーチャルペットに対する愛着と個人特性の関係

2132057 佐久間凱也

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

近年、日本ではペットブームが起り少子高齢化や単独世帯の増加、社会的ストレスの増加からペットに愛着をもつ傾向が強くなりペットを飼う人が増えている。一方で、家庭の事情によりペットの飼育が困難な人も多く見受けられる。そこでリアルペットではない選択肢として SONY により開発された AIBO などに代表されるペットロボットやスマホゲーム機上で接するヴァーチャルペットが挙げられる。実際にリアルペットを飼育できない人たちは多くいるためヴァーチャルペットアプリの重要も増えてきている。ヴァーチャルペットは実際にペットとの生活を疑似体験、あるいはそれ以上の体験をさせてくれるものである。また先行研究からリアルあるいはヴァーチャルペットペットへ愛着を感じる程度は個人ごとに異なると考えられる(濱野 2020)。これらの関係を明らかにするためリアルペットとヴァーチャルペットの本質的な違いを考察し新たなヴァーチャルペットの開発やペットロボットに貢献できるのではないかと考えた。

2. 目的

本研究では、リアルペットとヴァーチャルペットそれぞれの愛着や好意の感じ方に違いがあるかを明らかにして、個人特性が関わってくるのか検討することが目的である。ここでの個人特性は、ペットの飼育経験やネットゲームの親和性、または孤独感や外向性といった人格特性のことを指す。参加者には大体3週間ヴァーチャルペットを飼育してもらい、その期間内に課題として調査開始から4日ごとに一回写真を撮影して成長過程を送ってもらう。

3. 本調査 ヴァーチャルペットアプリのお世話を実施

3.1 方法

調査参加者：19 歳から 26 歳までの計 24 名（男性 15 名／女性 9 名）

実験環境：参加者のスマートフォンに「癒しのうさぎ育成アプリ」をインストールしてもらい各自参加者は 20 日間、自由な時間・場所でお世話してもらい本調査を行った。

材料：ヴァーチャルペットアプリの「癒しのうさぎ育成アプリ」を使用し、事後アンケートを利用した。

手続き：参加者には事前に「癒しのうさぎ育成アプリ」の基本操作説明と参加者の課題が書かれたワードのファイルを配布した。その後スマートフォンにアプリをインストールしてもらい 20 日間お世話してもらった。調査終了後に Google form のアンケートに回答してもらった。

3.2 結果

ヴァーチャルペットに対する愛着と飼育経験の有無を分散分析の記述統計量を用いて分析を行った。記述統計量で飼育経験によるヴァーチャルペットの愛着評価の平均値を求めた。ここでは、「飼育している」、「飼育していた」、「飼育経験なし」の3つに

分け、ヴァーチャルペットに対する愛着や癒しについての質問を合わせてそれぞれの質問についての平均値を求めた結果である。

表 1：飼育経験によるヴァーチャルペットの愛着評価の平均値

質問項目	飼育している	飼育していた	飼育経験なし
うさぎを見ているのが楽しかった	3.17	3.5	3.67
嫌なことがあったときにうさぎを見て癒された	2.08	2.83	2.67
うさぎをお世話するのは好きだった	3.08	3.50	3.50
楽しいこと、うれしいことがあった時などに、ヴァーチャルペットアプリを開いた	2.08	3.00	2.33
アプリ上でうさぎを見ているだけで穏やかな気持ちになれた	3.00	3.33	3.67
うさぎに触れて反応があると、気分が落ち着いていた	2.83	3.16	3.50

分析の結果、全ての質問に対し有意差はなかった。しかし、「飼育経験なし」「飼育していた」の平均値が「飼育している」の項目より高かったため何かしらの要因があることが分析して分かった。

4. まとめ

ヴァーチャルペットに対する愛着や好意は飼育経験の有無によつての有意差はみられなかった。しかし、リアルペットを「飼育している」と回答した人よりも「飼育していた」、「飼育経験なし」と回答したの方が平均値は高かった。これらの結果から、リアルペットを飼っていない人の方がヴァーチャルペットに対して愛着や好意がもつのではないかと考えた。また、「飼育経験なし」と回答した人たちの平均値が一番高かったため、リアルペットを飼った経験がない人がヴァーチャルペットを飼えば、リアルペットを飼っている人の愛着や好意を感じる平均値の値は同様な値、もしくはそれ以上になるのではないかと考えた。

参考文献

[人とペットの心理学.PDF](#)

内閣府 動物愛護による世論調査 (2010)
<https://survey.gov-online.go.jp/h22/h22-doubutu/zh/z12.html>

ペットは健康に有用？ペットの飼い主の 95%が「ストレス解消に役立つ」脳の健康にも良い影響
<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2022/011285.php>